

# 九条北小学校 校長室だより

NO.68 令和2年11月9日



今日の児童朝会では、「読書の秋」について話をしました。せっかくの読書に向けた季節、児童たちに、たくさん本を読んでほしいです。

## ★ 縦割り班活動「秋の集い」に向けて ★

11月28日（土）に予定している縦割り班活動「秋の集い」に向けて、準備が進んでいます。

例年「夏の集い」として実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施を見合わせていたものです。密を避けるために、保護者の皆さまの参観はない形での実施ですが、各班で話し合いをしながら、楽しいものにしようとアイデアを出し合っています。

先日、各班のお店の内容と場所が決まりました。当日までに用意するものやお店を回るグループなども話し合っています。



## ★ 「読書の秋」～たくさん本を読もう！！ ★

前に「スポーツの秋」についてお話ししましたが、もう一つ「読書の秋」という言葉もよく使われます。「読書の秋」という言葉は、「秋は過ごしやすい気候で、ゆっくり読書ができる季節」という意味です。そんな「読書の秋」という慣習が定着したのは、漢詩や小説などが関係しているようです。

「読書の秋」の由来として語られるのは、古代中国の漢詩です。詠んだのは唐という時代の詩人として高名な韓愈（かんゆ）という人です。時代は8世紀頃とされます。その漢詩は、学問の大切さを伝えています。その中に以下のような一説が登場します。

（日本語に置き換えると）「秋になり長雨があがって空も晴れ、涼しさが丘陵にも及んでいる。ようやく夜の灯に親しみ、書物を広げられる。」というような意味です。この一説がきっかけで、涼しい秋の夜は読書に適しているという考えが浸透したと言われています。昔の人も、暑い夏が終わってゆっくり読書できる秋を心待ちにしていたのかもしれませんが。

日本では夏目漱石の小説がきっかけと言われています。有名作家・夏目漱石が1908年に発表した小説「三四郎」で件の漢詩を引用したことがきっかけとされています。戦後まもない1947年には「読書週間」も開始されます。読書の力で平和を築く目的があったそうです。この読書週間により「読書の秋」という言葉がより強く根付いたと聞きます。

秋の気温も関係しています。夏の暑さが過ぎ去って気温が低くなる秋は集中しやすい季節なので、ゆっくり読書をして過ごすのに適しています。

さあ、皆さんも、「読書の秋」を楽しんでください。図書館には、たくさん本があります。ぜひ、新しい本を読んでみてください。